

秋の眺め 1969年(昭和44年)西川一平(前会長)

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第68期中間株主通信をお届けいたします。



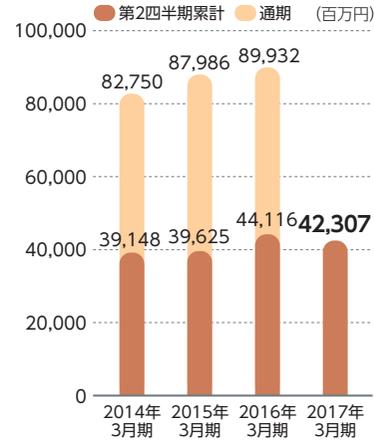
西川ゴム工業株式会社

## 財務ハイライト

### 売上高

**42,307**  
百万円

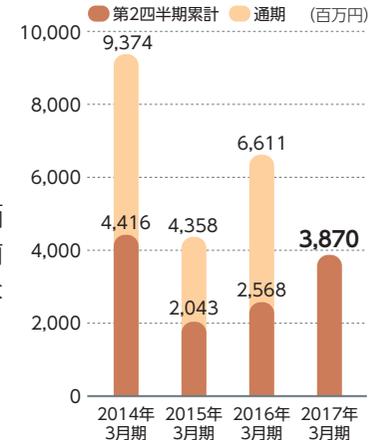
海外自動車生産台数は増加し国内自動車生産台数も回復基調にありましたが、為替の影響等により前年同期比4.1%減となりました。



### 経常利益

**3,870**  
百万円

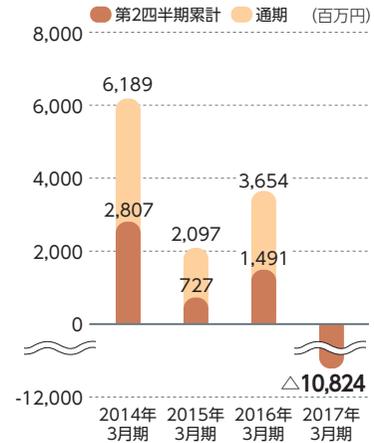
生産性向上および原価低減活動が奏功し、前年同期比50.7%増となりました。



### 親会社株主に帰属する四半期純利益

**△10,824**  
百万円

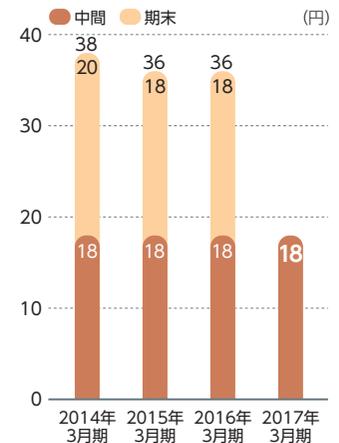
独占禁止法関連損失を特別損失として計上した結果、108億24百万円の損失となりました。



### 1株当たり配当金

**18**円

当期の中間配当金は1株当たり18円とさせていただきます。



※2014年3月期の年間配当には、記念配当2円が含まれております。

## セグメント別の業績

### 自動車用部品

円高等の影響を受けた結果、売上高は400億31百万円(前年同期比4.7%減)となりましたが、生産性向上および原価低減活動に注力した結果、営業利益は36億73百万円(前年同期比60.4%増)となりました。

### 一般産業資材

新設プレハブ住宅着工戸数の増加等により、得意先プレハブメーカーへの売上が伸びた結果、売上高は22億76百万円(前年同期比8.0%増)、営業利益は2億12百万円(前年同期比12.1%増)となりました。

## Q 上半期の事業環境と業績について教えてください。

**A** 当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、英国のEU離脱問題・米国の追加利上げ見送り等の影響により円高が進行したものの、原油等の原材料が安定的な価格で取引された結果、概ね底堅く推移しました。海外におきましては、米国および欧州主要先進国の景気が堅調に推移しましたが、新興国では中国の景気減速が継続するなど、景気の先行きが不透明な状況で推移しました。

自動車部品業界におきましては、国内では年初は熊本地震の影響等により生産台数は前年同期を下回ったものの、7月以降は各自動車メーカーの挽回生産や新車投入効果により前年同期を上回った結果、上期の国内自動車生産台数は対前年比で若干のマイナスとなりました。海外では米国・アジア等の主要地域において対前年を上回る生産台数で推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は423億7百万円(前年同期比4.1%減)となりました。利益については、営業利益は38億86百万円(前年同期比56.7%増)、経常利益は38億70百万円(前年同期比50.7%増)となりましたが、独占禁止法関連損失を特別損失として計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は108億24百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益14億91百万円)となりました。

代表取締役社長

西川 正洋



## Q 下半期の事業環境について、見通しを教えてください。

**A** まず、国内の事業環境ですが、消費税増税が2019年10月に延期された結果、日本自動車工業会が今年度の自動車需要見通しを484.5万台(前期比1.9%減)に下方修正すると発表しました。駆け込み需要が無くなった影響もあり、依然として国内自動車生産台数は減少傾向ですが、引き続き最大限の売上と利益を確保できるよう努めてまいります。

続いて海外の事業環境ですが、米国・メキシコ子会社では繁忙が続いているため、こちらの対応に注力していく必要があると考えています。また、インドの持分法適用関連会社においても今年度に入り自動車生産が堅調に増加しており、これに対応するため既存工場の能力増強等を進めています。

引き続き当社グループ一丸となって今年度の連結経営目標を達成できるよう、尽力してまいります。

## Q コーポレートガバナンス・コードに関する取り組みについて教えてください。

**A** 2015年6月に東京証券取引所がコーポレートガバナンス・コード(基本原則・原則・補充原則 計73項目)の適用を開始しました。本コードは実効的なコーポレートガバナンスの実現に資する主要な原則を取りまとめたものであり、上場企業は“コンプライアまたはエクスプレイン”(原則を実施するか、実施しない場合にはその理由を説明するか)を求められます。当社は昨年12月に同コードに対応した初めての報告書を提出しましたが、内容としてはコンプライ61項目・エクスプレイン12項目といった状況でした。提出日以後、当社では合理的な理由なくエクスプレインとなったものを課題と捉え、今年4月以降に招集通知の早期発送、新たな会社(任意)機関の設置(取締役・執行役員選任協議会)、取締役会の実効性評価等を実施し、今年6月に提出した報告書ではコンプライ69項目・エクスプレイン4項目となりました。引き続き、現状の体制に満足することなく、より良いガバナンス体制を検討・構築してまいります。

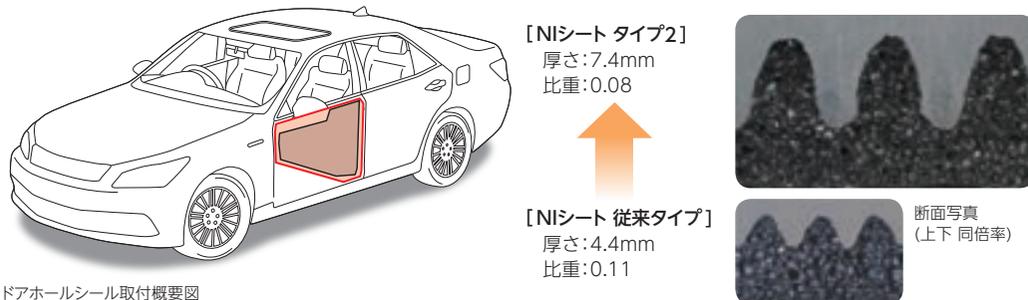
## ドアホールシール 防音性能向上 新バージョンを開発

自動車には多くの性能が求められますが、現在、各自動車メーカーにおいて「車室内 快適性」はとても重要と捉えられ、新車購入時等でのユーザーチェックポイントの1つにもなっています。この「快適性」はドライバーと搭乗者双方の感性に関わる特性で、極めてソフトでデリケートな領域。そして、そこには「音」すなわち「静粛性」が大きく寄与しています。当社は、この「音」・「静粛性」を1つの視点にして、近年の開発活動を進めています。

その活動結果として、これまでに自動車のドアを通過する騒音を低減するドアホールシール“NIシート”を世に送り出し、多くの新車両にご採用いただきました。今、それは当社の誇れる技術ブランドの1つです。

そしてこの度、当社はこれを次世代に向けてさらに性能向上させたドアホールシール 第2弾“NIシート タイプ2”を開発し、いよいよ市場投入いたしました。これは、当社のコア技術である「発泡」と「押出連続生産」を更に深耕させた「超発泡技術」によりつくりあげたもので、従来タイプよりもシート厚みをアップさせ、かつ低比重・高発泡を達成。幅広い周波数帯域での高い防音性能を有しています。また、従来の吸音・遮音特性のみならず、スピーカーからの低周波数域の音響特性にも優れています。

当社は、この、よりしなやかでより高性能な“NIシート タイプ2”の拡販活動を積極的に展開して売上げ拡大を図っていくとともに、今後もこの技術を追求し続け、快適性向上の一助となり続けられるように、力強く活動してまいります。



## インド・メキシコの生産体制強化

インドの持分法適用関連会社「エイエルピー・ニシカワ・カンパニー PVT. Ltd.」およびメキシコ子会社「ニシカワ・シーリング・システムズ・メキシコ S.A. de C.V.」では、現地日系自動車メーカーの生産増に対応するため、生産能力の増強を進めています。

インドの自動車生産台数は2016年2月から6ヵ月連続で前年実績を上回っており、乗用車に加えて商用車の伸び率も大きくなっています。また軽量化による省燃費性能や環境性能などへの要求が高まっており、樹脂品などの引き合いが強まりつつありました。

当社はこうしたニーズに応えるため、2016年9月に首都ニューデリー近郊のハリヤナ州グルグラムの工場に押出機や仕上設備を増設し、新たに樹脂製ガラスランチャネルの量産を開始しました。また北部パンジャブ州ラルルの工場でも、ウェザーstriップ等の押出機を増設するため新棟の建設を進めており、2017年4月の稼働を目指しています。

さらに西部のグジャラート州では、取引先自動車メーカーが新工場を稼働させる計画にあわせ、当社も対応を検討しています。

また、メキシコ合衆国においても日系自動車メーカーの生産はかつてないほど急速に拡大しています。2011年に現地法人を設立して以降、フル操業が続き、2015年6月に2棟目の工場を新設・稼働させて対応してきました。しかしながら、受注量が想定を上回る勢いで年々伸び続け、生産能力の拡大が課題となってきたため、2016年3月に既存工場近くに4万1千㎡の土地を取得しました。今後、日系自動車メーカーが新たな小型車工場を稼働させる計画があるため、今後の受注状況を見つつ新規取得した土地に3棟目の新設を検討しております。

当社では、両国ともに中長期的な成長が見込まれる重要な地域と考えています。今後も西川ゴムの技術が生み出す製品・サービスを必要としている世界中のお客様のご要望にお応えするため、さらなるグローバルな生産体制の強化に努めてまいります。



インド・グルグラム工場

## 連結財務諸表(要約)

### 連結貸借対照表

単位:百万円

科目	当第2四半期末 2016年9月30日	前期末 2016年3月31日
<b>資産の部</b>		
流動資産	50,371	54,417
固定資産	55,188	62,305
<b>資産合計</b>	<b>105,559</b>	<b>116,722</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	24,009	22,342
固定負債	23,524	17,891
<b>負債合計</b>	<b>47,533</b>	<b>40,234</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	42,898	54,075
その他の包括利益累計額	11,730	18,751
非支配株主持分	3,397	3,661
<b>純資産合計</b>	<b>58,026</b>	<b>76,488</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>105,559</b>	<b>116,722</b>

### 連結損益計算書

単位:百万円

科目	当第2四半期 2016年4月1日から 2016年9月30日まで	前第2四半期 2015年4月1日から 2015年9月30日まで
売上高	42,307	44,116
売上総利益	8,994	8,652
営業利益	3,886	2,479
経常利益	3,870	2,568
税金等調整前四半期純利益	△ 9,549	2,617
四半期純利益	△ 10,390	1,818
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 10,824	1,491

### 連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	当第2四半期 2016年4月1日から 2016年9月30日まで	前第2四半期 2015年4月1日から 2015年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,673	4,922
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 985	△ 1,737
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 791	1,146
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1,273	31
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 376	4,362
現金及び現金同等物の期首残高	22,009	16,696
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,632	21,059

## 会社概要・株式情報

### 会社概要 (2016年9月30日現在)

社名 西川ゴム工業株式会社  
 本社所在地 広島市西区三篠町二丁目2番8号  
 (TEL. 082-237-9371 代表)  
 設立 1949年(昭和24年)4月  
 資本金 33億6,448万660円  
 従業員数 1,362名

### 役員 (2016年9月30日現在)

代表取締役社長	西川 正洋	取締役	佐々木賢治
代表取締役副社長	山本 文治	取締役	内藤 真
専務取締役	児玉 照三	取締役	小川 秀樹
常務取締役	福岡 美朝	社外取締役	大迫 唯志
常務取締役	片岡 伸和	社外取締役	山本 順一
取締役	西川 泰央	常任監査役(常勤)	吉野 毅
取締役	米山 昌一	社外監査役	白井龍一郎
取締役	丸目 義博	社外監査役	藏田 修

### 株式の状況 (2016年9月30日現在)

発行可能株式総数……………48,343,000株  
 発行済株式の総数……………19,995,387株  
 株主数……………1,667名

### ●大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
西川正洋	2,435	12.44
株式会社ハイレックスコーポレーション	1,241	6.34
西川ゴム工業取引先持株会	979	5.00
株式会社広島銀行	957	4.89
西川泰央	748	3.82

(注)持株比率は、自己株式(416,715株)を控除して計算しております。

### 株主メモ (2016年9月30日現在)

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 毎年6月開催  
 一単元の株式数 100株  
 基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
 期末配当金 毎年3月31日  
 中間配当金 毎年9月30日  
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 (特別口座の管理機関) 三井住友信託銀行株式会社  
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社証券代行部  
 電話照会先 ☎ 0120-782-031(フリーダイヤル)  
 公告の方法 日本経済新聞に掲載する

## 株主優待のご案内

株主の皆様からの日頃のご支援に感謝するとともに、事業内容をより一層ご理解いただくために、株主優待制度を実施しています。

贈呈時期は、毎年7月を予定しています。

所有株式数	優待の内容
100株以上 1,000株未満	500円相当の商品 およびクオカード500円分
1,000株以上 5,000株未満	2,000円相当の商品詰め合わせ およびクオカード1,000円分
5,000株以上	3,000円相当の商品詰め合わせ およびクオカード2,000円分



※上記の写真は優待品イメージです。実際の仕様とは異なりますのでご了承ください。

### 西川ゴム工業ホームページ

当社ホームページでは最新の財務情報のほか、会社情報、製品紹介、技術紹介など当社を深くご理解いただくため様々なコンテンツをご用意しております。ぜひご覧ください。



<http://www.nishikawa-rbr.co.jp/>

